

7 地域と連携・協力した安全で豊かな都市山麓づくり



市之倉森づくり部会 岐阜県 多治見市

1 社会資本の概要

土岐川流域では、過去に薪材の伐採や陶土の採掘等により丘陵地の樹林が乱伐され、広範囲の山地が禿敷地(とくしゃち)^{*1}となりました。これに対し、昭和初期より旧建設省や林野庁等により砂防事業及び治山事業が実施され、概ね緑が回復したが、近年は里山林としての管理不足等から、徐々に樹林の荒廃が進みつつありました。土岐川流域グリーンベルト整備事業はこのような背景のもと、多治見

市、土岐市の市街地に隣接する山麓斜面を一連の緑地帯として、土砂災害に対する安全性向上、緑豊かな都市景観をより望ましいものとする等を目的に、平成12年から事業が開始され、市之倉地区においては、平成15年から行政と地域住民が協力して、樹林整備活動等を行っています。

^{*1}: 草木が育つための表土が無くなり地肌がむき出しになる状況



禿敷地となった山地



植林が進む山地



緑豊かな山地

2 取組の背景、取組概要と創意工夫

土岐川流域グリーンベルト整備事業の開始から3年後の平成15年、「はげ山から再生した丘陵を、より安全で豊かな都市山麓に作り上げることを」目標に、市之倉地区の住民と行政が協力して「おりべの森」「どんぐりの森」「やすらぎの森」「筒小屋の森」の4つの森で活動が始まりました。樹林整備のほか、森を身近に感じてもらうための散策道や展望台の整備を行っており、「筒小屋の森」展望台は地域の初日の出スポットになりました。地元の夏祭で

は、4つの森における活動紹介と併せ、伐採木で作した椅子の販売を行っています。また、樹林整備を次の世代に繋げるため、市之倉小学校における樹林観察会や間伐体験のほか、事業主体の1つである多治見砂防国道事務所が行う砂防教室への協力のほか、市之倉保育園においては「どんぐりの森」での課外活動の見守りを行っています。



樹林整備



「筒小屋の森」初日の出



砂防教室

3 活動の成果や波及効果等

当地域は、旧市街地と新興住宅地が混在しており、新旧住民の地域内における結束が課題となっていました。里山の樹林整備から始まった活動は、地域行事への参加に加え、小学校や保育園へのボランティア活動にも広がり、新旧住民のコミュニケーションを醸成する場へと発展しました。特に、次の世代に繋げる活動として始まった、市之倉小学校での樹林観察会や間伐体験は、国土交通省を始めとした行政機関と連携し、樹林の保全、維持管理の大切さ、自然の大切さ、里山と人、人と人との繋がりを学ぶ場として活用されています。



地域とのふれあい



園児とのふれあい



樹林観察会



間伐体験



卒業記念植樹

喜びの声



受賞者

市之倉森づくり部会
会長
加藤 高久

コメント

「荒廃した里山を緑の森にしたい」と始まった樹林整備の活動も今年で20年を迎えます。活動を支えたのは郷土を愛する心、地域の仲間との絆です。これからは、未来を担う子供たちに、郷土の素晴らしさ、里山と人、人と人との繋がりの大切さを伝えていきたいと思っています。

活動の内容

- 「おりべの森」「どんぐりの森」「やすらぎの森」「筒小屋の森」での樹林整備、散策道の整備
- 市之倉夏まつりにおいて樹林整備活動の広報
- 市之倉小学校での樹木観察会、間伐体験、卒業記念植樹の補助
- 市之倉保育園における遠足などの課外活動の見守り
- 市之倉小学校における砂防教室(防災学習)への協力

活動の経歴

平成15年 市之倉森づくり部会設立
令和4年 手づくり郷土賞(一般部門)受賞
令和5年 設立から20年

所在地 岐阜県多治見市市之倉町

活動主体及び連絡先 市之倉森づくり部会
会長 加藤 高久

対象となる社会資本 土岐川流域グリーンベルト整備事業
市之倉おりべ砂防ダム

